

学校設定科目「日本語Ⅲ」の授業で町巡検に出かけました！

【令和7年12月16・17日】



3年生の学校設定科目「日本語Ⅲ」の授業で、2日間にわたり、御嵩町の巡検に出かけました。この巡検は、生徒たちが自分たちの力で授業をデザインする取り組みの一環として、生徒からの提案で実現。第1日目は、旧中山道まで歩き、本陣や旅籠の跡をみながら、願興寺まで歩き、かつて門前町として発達した宿場町の様子を知ることができました。第2日目は学校の裏手にある火防(ひぶせ)の神様を祀る秋葉神社と軍人墓地を眺めた後、江戸時代のキリストン信仰の話を聞きました。町内で遺物が発見され、かつてこの地に隠れキリストンが存在していた歴史が明らかになったことや、マリア像が厳しい弾圧の中で信仰を続けた先祖の慰靈の意を込めて建てられたことを学び、翌日の授業で気づきを発表をしました。



また3年生の「日本語Ⅲ」選択者は、11月6日(木)に伏見小学校の外国につながる児童との日本語交流授業に参加しています。下級生のクラスではゲームを通しての交流、上級生のクラスではゲームに加えて、2年次に取り組んだ多読演劇の動画を見せた後、日本での生活の話をし、小学生からたくさん質問を受けました。今後もさまざまな世代との交流を通じて、自己の経験を振り返り、自己肯定感を高めていきたいと思います。